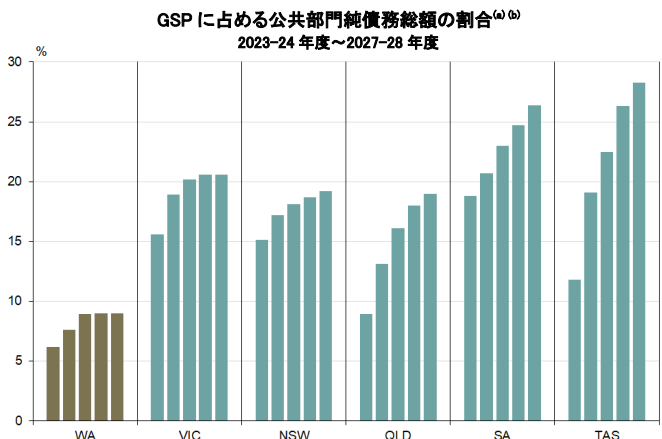
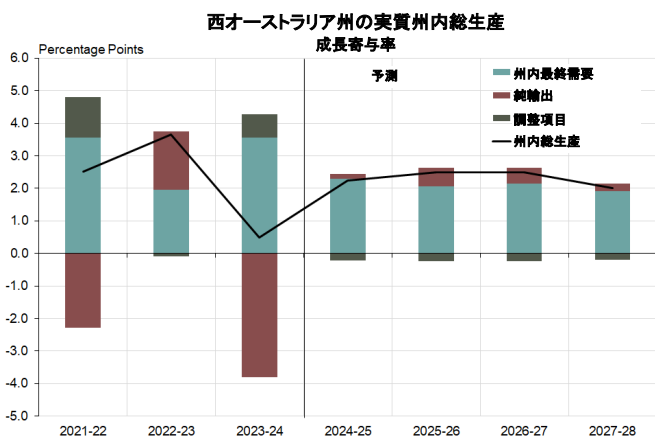


西オーストラリア州関連データハイライト

- 西オーストラリア州の実質州内最終需要は第3四半期に0.7%(季節調整値)増加し、前年同期比2.5%増となった。
- 西オーストラリア州の雇用者数は11月に1万5,300人(季節調整値)増加し、失業率は3.3%に低下した。
- 10月のオーストラリア全体の商品輸出で西オーストラリア州が占めた割合は44%であった。
- パースの住宅価格は12月に0.7%増加し、前年同月比19.1%増となった。

西オーストラリア州政府 2024-25年度中間財務予測

- 西オーストラリア州経済は他の州・準州を凌ぐ好調を維持しており、2024-25年度予算公表時の予測を上回る堅調な成長を見せている。州内経済の成長率は2023-24年度にオーストラリア全体の2倍超となる5.7%を記録した一方、失業率は歴史的な低レベルを維持していた。
- 州内経済は2019年12月から2024年7-9月期にかけて23.8%成長しており、同期間の成長率が14.8%だった国全体を大きく上回っている。
- 州内経済成長を支えていたのが、旺盛な企業投資と回復力に富む家計消費を伴う民間部門であった。住宅投資も加速しており、2023-24年度の竣工戸数は2018年以降最高を記録した。
- 好調な景気は州の財政状態にも反映されており、2024-25年度の一般政府営業余剰予測は(予算26億ドルを上回る)31億ドル、後続年度の予測値も(2024-25年度予算と概して整合的な)25~27億ドルとなっている。
- 2025年6月30日時点の公共部門純債務総額は、予算内予測から2億8,900万ドル下回る324億ドルと予測されている。州内総生産の7.6%にすぎないこの数値はオーストラリア全体の純債務レベルからみると突出した低さで、西オーストラリア州は引き続きムーディーズとS&Pグローバルの両方からトリプルA格付けを取得している唯一の州となっている。



出典：Treasury WA.

(a) 出典：Data for Western Australia, New South Wales, Victoria and South Australia sourced from Mid-year Reviews. Data for Queensland and Tasmania sourced from 2024-25 Budgets.

(b) 純債務予測は(可能な場合)公共部門全体を反映しているが、ニューサウスウェールズ州、クイーンズランド州および南オーストラリア州は非金融公共部門の合計予測のみ公表(つまり、これら区域の予測には公庫の影響は含まれていない)。

オーストラリア金利 (%)			為替と株価		
RBA 政策金利目標	4.35	(0 pt)	AUD/USD	0.6188	(↓5%)
90 日銀行手形	4.42	(↓1 pt)	AUD/JPY	97.29	(↓0.2%)
連邦政府 3 年国債	3.82	(↓9 pt)			
連邦政府 10 年国債	4.36	(↑2 pt)	ASX200	8159	(↓277 pt)

市場概況

- 予想されたとおり、RBA 理事会は 12 月に政策金利目標を 4.35%に据え置いたが、メディア向け声明は従来よりも明らかにタカ派的姿勢が後退した内容であった。
- 12 月のオーストラリア国債利回りは初旬に世界の国債利回りと並んで下落し、RBA 理事会が 12 月度会合後に発表したよりハト派的な内容の声明を受けて 2 カ月ぶりの低水準となったが、月後半には世界の国債利回りの上昇を受けて反発した。
- 12 月の豪ドルは初旬に日本円に対して 11 週ぶりに下落したが、すぐに回復して月内はわずかな下落にとどまった。豪ドルは米ドルに対して 12 月で 3 カ月連続となる下落を見せ、2020 年初頭のパンデミックによる急落以来の最低レベルで月を終えた。豪ドル/米ドル取引に多大な影響を及ぼしたのは中央銀行の発表であった。RBA 理事会は 12 月に政策金利を据え置いたが、理事会後のメディア向け声明および理事会議事録は驚くほどハト派的な姿勢になっており、インフレに対する一部の上振れリスクは緩和したと思われると共に、景気に対する下振れリスクが強まっていると認めている。米国では予想どおり FF 金利が引き下げられたが、FOMC 参加者は 2025 年のインフレ・金利予測を引き上げている。

ASX200 は 12 月初旬に過去最高を記録したのち、オーストラリア最大の貿易相手国である中国の経済データで緩やかな成長の継続が示唆されたことを受け下落した。ASX200 は 12 月 20 日に 3 カ月ぶりの低い終値を付けたが、これに先立ち米国金利を決定する FOMC による 2025 年度金利予測の引上げに基づく米国市場の下落があった。だが、月後半には月初の下落をある程度取り戻す回復がみられた。

満期	利回り		AGS スプレッド	
	2024 年 12 月 31 日	2024 年 12 月 31 日	2024 年 12 月 31 日	2024 年 12 月 31 日
2026 年 10 月 21 日	3.95	(↓19 pt)	+6 pt	(↓8 pt)
2027 年 10 月 21 日	3.97	(↓15 pt)	+14 pt	(↓6 pt)
2028 年 7 月 20 日	4.07	(↓12 pt)	+24 pt	(↓3 pt)
2029 年 7 月 24 日	4.19	(↓10 pt)	+31 pt	(↓3 pt)
2030 年 10 月 22 日	4.35	(↓8 pt)	+32 pt	(↓5 pt)
2031 年 10 月 22 日	4.52	(↓6 pt)	+37 pt	(↓6 pt)
2032 年 7 月 21 日	4.63	(↓3 pt)	+41 pt	(↓4 pt)
2033 年 7 月 20 日*	4.73	(↓2 pt)	+45 pt	(↓2 pt)
2034 年 10 月 24 日	4.93	(0 pt)	+59 pt	(↓3 pt)
2041 年 7 月 23 日	5.23	(↓2 pt)	+59 pt	(↓1 pt)

*グリーンボンド

オーストラリア連邦政府国債と各州政府債の利回り格差 (2024 年 12 月 31 日時点)

